

「第11回 土木設計関係技術発表会」 発表概要書

発表内容	事例名（業務名）	令和5年度岡山国道管内トンネル点検業務
	業務発注者名	中国地方整備局 岡山国道事務所
発表者	所属協会名	岡山県測量設計業協会
	所属会社	株式会社ウエスコ
	発表者名	中本 圭悟

発表事例の概要

＜図表も含め1000字(40字×25行)程度以内＞

①業務の内容、技術的特徴

【内容】 本業務は岡山国道事務所管内の11トンネルについて、10トンネルの定期点検と1トンネルの監視点検を実施し、変状・異常箇所 の把握や応急措置を行うことを目的とした業務である。

【技術的特徴】

- 1)対象トンネルの多くは、供用から50年近く経過した矢板トンネルであり、変状や補修跡が多数あり、現場作業に要する時間が長くなることが予想された。
- 2)国道2号に位置するトンネルは交通量が多く、また、幅員も狭いため規制に起因した追突事故や渋滞の発生、覆工や点検車への接触リスクが懸念された。
- 3)火災事故に起因した山陽道の通行止めの影響で、備前IC以東に位置する対象トンネルの交通量が平常時より倍増した。

【解決策】

- ・火災事故後、う回路に指定された路線の作業時間の変更（当初：昼間⇒変更後：夜間）
- ・対象トンネルの特徴を考慮した、作業日程の工夫
- ・交通量の推移を考慮した規制開始時間の変更（当初：22時⇒変更後：23時）
- ・規制看板配置計画の変更（当初：1km先⇒変更後：3km先）
- ・点検支援技術の活用による現場作業の省力化

②高評価の要因

- 1)無事故で作業を終えることができたこと
- 2)積極性（困難な状況下でも創意・工夫で業務に取り組む姿勢）を示せたこと
- 3)点検支援技術（走行型画像計測技術）の有効活用
- 4)トンネル毎の状態に応じた調査提案

③工夫した点・苦労した点

- ・山陽道通行止めの影響を、定量的に示すことで、昼間作業のリスクを理解いただけた
- ・上下線で交通量に偏りがあったため、片側交互通行の実施に苦慮
- ・夜間は通行する特殊車両の安全確保に苦慮

*概要書記載上の留意事項

- ①業務の内容、技術的特徴等を簡潔に記載
- ②表彰に至る高評価の要因等を簡潔に記載
- ③業務遂行上、苦労した点や工夫した点等を簡潔に記載

*発表資料作成上の留意事項

- ①パワーポイントにて25枚程度以内に簡潔にまとめる
- ②上記の概要書記載上の留意事項①～③に留意して作成